

親子聖書日課

[日]主の裁きは、民を滅ぼし尽くすためのものでなく、彼らが自分の罪を認めて、主の救いを求めるためです。主に打たれる時、心を頑なにせず、悔い改めることが大切です。その時、主は大手を広げて、私達を受け入れて下さるのです。

[月]主を知るとは、頭の中で理解することではなく、主を畏れ敬うことです。主の喜ばれることは、生涯「主を知ることを追ひ求める」ことです。そのために、み言葉に聴き従いましょう。すると、主がどれほど深く愛して下さっているかが分かります。

[火]「裏返さずに焼かれた菓子」は美味しくありません。片面がこげて、もう一方が生だからです。これは地上の事には熱心でも、天の事には冷たいことを表します。地上の事以上に、天の事に熱くなりましょう。平和が実現することも天の事です。

[水]主に従いますと言いながら、主の恵みを退ける人はいませんか。恵みとは、賜物のことで、主は誰にでも豊かに与えて下さいます。「私は何もできません」ではなく、「何でもやらせて下さい」と言いましょう。主に喜ばれる器になりましょう。

[木]「預言者は愚か者とされ」るのは、今日も同じです。福音を伝えても、聞いてもらえず、無視にされることがあります。しかし、主を信じない者は、救いに与えることはできませんから、無視されても大胆に語りましょう。主の愚か者になりましょう。

[金]愛の実を借り入れるためには、「新しい土地を耕す」必要があります。悪しき習慣の笹の根を引き抜き、自我の切株を掘り起こし、不信の岩石を動かして耕すのです。今こそ主を求めて、心を耕すなら、主の恵みの雨が豊かに注がれます。

[土]神の愛は母親の愛に似ています。手を取り、歩くことを教え、食物を与えます。他人ならいい加減な所で止めますが、母親は違います。決して失望せず、放棄しません。神は尚更、私達を「愛の絆」で育てて下さいますから、主に委ねましょう。



NO.1924 2025.8/10-16

名前

	聖書	問題	答え
日	ホセア 5:1-15	彼らが何を認めて、主を尋ね求めるまで、主は立ち去りますか。	
月	6:1-11	何を追ひ求めるべきですか。	
火	7:1-16	エフライムはどんな菓子となりましたか。	
水	8:1-14	しかし、イスラエルは何を退けましたか。	
木	9:1-17	預言者はどんな者とされましたか。	
金	10:1-15	ついに主が訪れて何を注いでくださいますか。	
土	11:1-11	私は人間の綱、愛の何で彼らを導きますか。	
感想と祈りの課題			